

平成24年度

# 行政改革実施計画の執行状況

行政サービス向上を目指した取り組みを進めています

## 島田市行政改革大綱と実施計画とは

市総合計画の7つの施策の1つである「市民と行政がともに創る、活力に満ちたまち」を推進し、市民サービスの向上と効率化を目指すため、その具体的な取り組みについて定めたものです。この大綱の中で、次の3項目を行政改革推進の基本方針として、具体的な目標値などを掲げた実施計画を策定し、進捗管理を行っています。

### 【柱となる3つの基本方針】

- ① 効果的かつ効率的な行政運営の推進
- ② 親しみやすい市役所づくり
- ③ 自主性・自立性の高い財政運営の確保

## 1 効果的かつ効率的な行政運営の推進

民間能力の活用をはじめ、補助金や外郭団体の見直しを進め、行政サービスに対する市民満足度の向上を図りました。

### ● 民間能力の活用

(効果額2347万9000円)

金谷中央保育園の民営化を実施

し、運営経費は、市の直営より民間委託の経費の方が安くなる効果がありました。

### ● 補助金などの整理合理化

(効果額1億1469万6000円)

16件を廃止し、16件を統合・改善・縮小しました。

### ● 外郭団体の見直し

市内国際交流4団体の代表者による「(仮称) 島田市国際交流協会設立準備会」を7回実施し、次年度の統合に向けての準備が整いました。

## 2 親しみやすい市役所づくり

市民が求めるサービスを的確かつ適切に提供するとともに、職員の人材育成に努め、市民の利便性の向上を図りました。

### ● 利用しやすい行政サービス体制の確立

窓口業務の時間延長および土曜日開庁を行うとともに、こども館および新島田図書館については、市民が利用しやすい開館時間としました。

および新島田図書館については、市民が利用しやすい開館時間としました。

厳しい財政状況の中、新たな行政需要に的確に対応し、市民の信頼に応えるため、平成22年3月に「行政改革大綱」と具体的な取組内容を示す「実施計画(平成22年度～平成26年度)」を策定しました。今回は、5カ年計画の3年目となる平成24年度の主な項目の執行状況を報告します。

### ● 人材の育成

地域課題研修や政策形成研修などを実施し、広範な知識や問題意識を持つ職員の養成に努めました。

## 3 自主性・自立性の高い財政運営の確保

経済的な視野に立ち、限られた財源を適正かつ公正に配分し、一層の財政の健全化に取り組みました。

### ● 効果的な公的施設の運営

(効果額5464万1000円)

指定管理者制度の適正な管理・運用を図るため、12の指定管理者について、評価を実施しました。

29の施設で指定管理者制度を活用し、経済的かつ効果的に、より良い市民サービスを提供しました。また、平成26年7月に開業予定の「川根温泉ホテル」の指定管理者制度の導入について検討しました。

● 経費の節減合理化による財政の健全化 (効果額3億6282万5000円)

利用計画のない土地の公売などに取り組みました。

◎ 企画調整課 ☎ 36・7120

※ 左の表の上段の額は、当初の額に、平成25年度に新たに設定した効果額を加えた額と達成率。

※ 左の表の下段(カッコ内)の額は、当初の額と達成率。



こども館プレールーム「ほるね」

■ 実施計画の取り組み状況 (単位：千円)

年度(平成)	目標効果額	実績効果額	達成率
22	762,154 (707,988)	654,666 (499,818)	85.9% (70.6%)
23	545,390 (497,785)	656,015 (478,586)	120.3% (96.1%)
24	484,890 (373,278)	741,762	153.0%
25	503,696 (443,694)	—	—
26	807,811 (787,740)	—	—
合計	3,103,941 (2,810,485)	2,052,443	66.1%

※ 行政改革大綱および行政改革実施計画は、市のホームページ (<http://www.city.shimada.shizuoka.jp/>) に全文が掲載されています。また、市役所情報公開コーナーでもご覧いただけます。